

キャラクター名
桐ヶ谷 隼人(きりがや はやと)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	クリーニング店店長
	パロール					
オプション			年齢	30	性別	男
覚醒	素体	衝動	吸血	初期侵食率	34	%
出自	義理の両親	経験	汚れ仕事	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術: 洗濯	1		知識: クリーニング	2		情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
シンボライズカード	
要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス: 生還者P		N		
棺男、日向 小春P	友情	N 猜疑心		
蝦夷 銀次郎	P 親近感	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
原初の紫(炎陣)	1	2+1	オート	至近	自身	-	-	
効果: カバーリング 1メインプロセス1回								
シャドースクラッチ	5	2	メジャー	-	-	白兵/RC	-	
効果: 攻撃力+Lv 〈無形の影〉使用時は+ [Lv×2]								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	効果参照	-	
効果: あらゆる判定組合せ可。判定を【精神】で行う。1ラウンド1回								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	-	100%	
効果: 敵の判定を強制失敗 シナリオ1回								
孤独の魔眼	3	4	オート	視界	効果参照	-	-	
効果: 対象: 範囲を単体化 シナリオ1回								
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	-	-	
効果: ガード時、ガード値+LvD								
ゼログラビティ	1	6	オート	視界	単体	-	120% 吸血	
効果: ドッジを失敗させ、ガードでダメージ軽減不可にする。 シナリオ1回								
イージーフェイカー	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	-	-	
効果: 細菌環境操作をコピー。どんな汚れもすぐ落とす。								
シャドウダイバー	★	2	メジャー	至近	単体	-	-	
効果: 影から心を読む。裏切り者探し。感情を隠している場合はRCと相手の意志で対決。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

パロールの強力な防御エフェクトを得意とする、守備型のオーヴァード。本人は専ら前衛を守護する肉壁役を買って出るが、いざという時は自身の影から生み出した異形を用いて攻撃を行う。
戦闘時には、カードを掲げて影を呼び出す。形は獣や悪魔など様々だが、本人は竜の姿を好んで使っている。このカードは能力の制御装置としての役割もあり、これがないと影は暴走して好き勝手に暴れ回ってしまう。

物心つく以前に、オーヴァードとしての素質に目を付けたFHに拉致され、幼少期を半監禁状態で過ごす。唯一話が出来たのは、世話役兼監視役として付けられていたFHの少年のみ。
プロジェクトロインフィニティコードの過程で実験に使用され、偶然にもオーヴァードに覚醒。元々資質として持っていたパロールの能力の他に、ウロボロスの力を同時に手に入れた。
覚醒した力は暴走し、自律する影となって周囲のFHエージェントを手当たり次第に殺し、その血を吸った。
その凶刃は見知った少年にも及びそうになり一とっさのところで影の手綱を引き、そのままFHの研究室を逃げ出した。
以降はUGNに保護され、その活動に従事している。

ウロボロスの能力により、ある程度の読心能力を有していたこともあり、一時期は内通者や裏切り者を始末する役職に就いていた。同僚を疑い、殺す毎日。唯一、UGNの師であり友人の日向小春にだけは心を許し、頻りに愚痴をこぼしていた。

その能力と、FHに対する知識を評価され、日本支部副支部長から直々に推薦を受けて支部長に就任した。

幼少期に出会ったFHの少年は、何の因果か今はFHでそれなりの地位に居るらしい。表立っては接点はないが、他セルの情報などをそれとなく伝えてくれたりする。貴重な情報源だ。

支部はクリーニング店に偽装している。